

予 算 審 査 特 別 委 員 会

令和8年3月10日（火曜日）

1. 開 会

1. 予算審査特別委員会委員長の選挙

1. 予算審査特別委員会委員長の挨拶

1. 予算審査特別委員会副委員長の選挙

1. 議案第22号の総括説明

1. 延会について

1. 延 会

午前10時04分開会

出席委員（12名）

一 條 裕太郎 君	二 上 光 子 君
黒 澤 朗 君	佐々木 敏 雄 君
佐々木 みさ子 君	稲 葉 定 君
只 野 順 君	後 藤 洋 一 君
杉 浦 謙 一 君	門 田 善 則 君
竹 中 弘 光 君	大 泉 治 君

欠席委員（1名）

伊 藤 雅 一 君

説明のため出席した者の職氏名

町 長	遠 藤 积 雄 君	副 町 長	大 崎 俊 一 君
総務課参事兼課長 兼デジタル行政推進室長	内 藤 亮 君	企 画 財 政 課 長 企 参 事 兼 課 長	熱 海 潤 君
税 務 課 長	木 村 治 君	町 民 生 活 課 長 参 事 兼 課 長	今 野 優 子 君
福祉課参事兼課長	鈴 木 久美子 君	子 育 て 支 援 課 長	佐 藤 明 美 君
健 康 課 長	徳 山 裕 行 君	総 務 管 理 課 長 参 事 兼 課 長	紺 野 哲 君
産 業 振 興 課 長	三 浦 靖 幸 君	建 設 課 長	岩 渕 明 君
上 下 水 道 課 長	阿 部 雅 裕 君	会 計 管 理 者 兼 会 計 課 長	久 道 正 恵 君
農 業 委 員 会 会 長	日 野 善 勝 君	農 業 委 員 会 事 務 局 長	荒 木 達 也 君
教 育 委 員 会 教 育 長	柴 有 司 君	教 育 総 務 課 長 兼 給 食 セ ン タ ー 所 長	宮 まどか 君
生 涯 学 習 課 長	福 山 宗 志 君	代 表 監 査 委 員	城 口 貴 志 生 君

事務局職員出席者

事 務 局 長	渡 邊 千 春	総 務 班 長	大 平 佳 矢
---------	---------	---------	---------

◎開会の宣告

(午前10時04分)

○議長(大泉 治君) ただいまから予算審査特別委員会を開会いたします。

開会前にお知らせいたします。

9番伊藤雅一君から欠席の届出が出ております。



◎開議の宣告

○議長(大泉 治君) 直ちに会議を開きます。



◎予算審査特別委員会委員長の選挙

○議長(大泉 治君) ここで、予算審査特別委員会の委員長を選任しなければなりませんので、委員長の選挙を行います。

お諮りいたします。

選挙の方法については指名推選とし、指名の方法は議長が指名することにしたいと思います。これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長(大泉 治君) 異議なしと認めます。したがって、選挙の方法については指名推選とし、指名の方法は、議長が指名することに決しました。

前例に従い、総務産業建設、教育厚生、各常任委員会委員長の持ち回りとし、今回は総務産業建設常任委員会委員長の門田善則君を指名いたします。

お諮りいたします。

ただいま議長が指名いたしました門田善則君を予算審査特別委員会委員長の当選人と定めることにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○議長(大泉 治君) 異議なしと認めます。したがって、ただいま指名しました門田善則君が予算審査特別委員会委員長に当選されました。

暫時休憩いたします。

休憩 午前10時05分

再開 午前10時07分

〔出席議員数休憩前に同じ〕

〔議長、委員長と交代〕

○委員長（門田善則君） 休憩を解いて再開いたします。

◇

◎予算審査特別委員会委員長の挨拶

○委員長（門田善則君） 予算審査特別委員会開会に当たり、一言ご挨拶申し上げます。

令和8年度涌谷町一般会計並びに特別会計の予算審査に当たり、スムーズに進行することをお願い申し上げます。

委員の皆様には、限られた日数の中で効率よく行うために、質疑は的確に簡潔をお願いいたします。

そして、参与の皆様には要領よく答弁されますようご協力をお願い申し上げて、私の挨拶とさせていただきます。よろしく申し上げます。

◇

◎予算審査特別委員会副委員長の選挙

○委員長（門田善則君） これより副委員長の選挙を行います。

お諮りいたします。

選挙の方法は委員長の指名推選としたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○委員長（門田善則君） 異議なしと認めます。よって、委員長において指名することに決しました。

副委員長に黒澤 朗君を指名したいと思います。

お諮りいたします。

ただいま委員長が指名いたしました黒澤 朗君を予算審査特別委員会副委員長の当選人と定めることに異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○委員長（門田善則君） 異議なしと認めます。よって、ただいま指名いたしました黒澤 朗君が予算審査特別委員会の副委員長に当選いたしました。

◇

◎議案第22号の審査

○委員長（門田善則君） ただいまから令和8年度の各会計の予算説明に入るわけですが、各会計ごとに歳入歳出の説明、質疑、討論、採決を行いたいと思います。

これより審査に入ります。

まず、本委員会に付託されました議案第22号 令和8年度浦谷町一般会計予算の審査を行います。

それでは、歳入歳出の総括説明を求めます。

予算全般につきましては企画財政課長に、歳入のうち町税につきましては税務課長に、人件費についての総括説明は総務課長に説明を求めます。企画財政課長から順次説明をお願いいたします。企画財政課長。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） それでは改めて、おはようございます。本日もよろしくお願いいたします。

それでは、議案第22号 令和8年度浦谷町一般会計予算の総括説明をさせていただきます。

令和8年度一般会計予算書1ページをお開き願います。

第1条では、総額を81億1,031万8,000円と定めております。

第2条におきましては、債務負担行為ができる事項などを定めております。

6ページをお開き願います。

第2表債務負担行為として記載しております9件となります。

1ページにお戻り願います。

第3条でございます。地方債について定めております。

また、7ページをご覧くださいまして、第3表に記載しております10件、4億2,675万8,000円が地方債の事業となります。起債の目的欄は、起債メニューによる掲載となっております。

表の上から、証明書コンビニ交付サービス導入事業は、コンビニ交付システムを構築するもの、農業生産基盤整備事業と一般圃場施設整備等事業は、県営圃場整備事業、次の道路整備事業は、泥目木線の道路改良事業の財源となるもの、その次の辺地対策事業につきましては、大谷地地区の辺地事業の財源、その次の緊急浚渫推進事業につきましては、不動沢川の浚渫工事の財源となり、消防団ポンプ積載車更新事業では、消防団ポンプ積載車の更新に係る財源となるもの、過疎対策事業債と過疎対策事業のソフト事業につきましては、議会資料5、議案第22号関係として資料がございますので、そちらをご参照願います。

借換債につきましては、平成27年、8年に筥岳白山小学校事業整備事業の際に借入れをしたものにつきまして、10年が経過したもので、借換えを行うものでございます。

なお、それぞれの事業内容につきましては、歳出科目においてご説明させていただきます。

予算書1ページにお戻りいただきます。

第4条でございます。一時借入金 の最高額を2億円と定めております。

第5条におきましては、経費の流用について、非常勤特別職に係る報酬を除く報酬、給料、職員手当、共済費、人件費に係る負担金の予算額に過不足が生じた場合については、同一款内での流用ができることとしております。

それでは、A3判の資料4をご覧くださいと思います。令和8年度一般会計当初予算に係る資料で説明させていただきますので、まず1ページをお開き願います。

総務省自治財政局が今年2月に作成いたしました令和8年度の地方財政計画のポイントの抜粋でございます。

まず、左側をご覧くださいまして、1の(1)一般財源総額の確保におきましては、物価高や人件費の増加に

対応するため、一般財源の総額を対前年度比3.7兆円増額した67.5兆円が確保されており、地方交付税の総額では対前年度比1.2兆円を増額した20.2兆円が確保されております。

また、当分の間、税率とされておりましたガソリン暫定税率や環境性能割廃止に伴う令和8年度の税込につきましては、地方特例交付金により全額補填されるとされております。

(2) 地方財政の健全化につきましては、引き続き臨時財政対策債の新規発行額をゼロとした上で、臨時財政対策債償還基金費を創設し、交付税特別会計の借入金残高を2.9兆円縮減するとしております。

(3) 物価高官公需の価格転嫁への対応といたしまして、物価高を反映し、地方団体の委託料、維持補修費、投資的経費について0.6兆円増額計上するとともに、普通交付税の算定で、地方団体の価格転嫁の取組を反映するとされております。

(4) いわゆる教育無償化への対応といたしまして、教育無償化に係る地方負担0.4兆円について、地方財政計画の歳出に全額計上し、一般財源総額を増額確保するとし、また公立高校における人材育成の取組を推進するため、高等学校教育改革等推進事業費0.1兆円を計上し、高等学校教育改革等推進事業債を創設するとしております。

(5) 地域未来基金費の創設として、都道府県における産業クラスターの形成拡大や地場産業の付加価値向上と販路開拓を推進するため、地域未来基金費0.4兆円を創設するとしております。

(6) 防災・減災対策の推進といたしまして、緊急防災・減災事業費、緊急自然災害防止対策事業費の対象事業を拡充した上で、事業期間を令和12年度まで延長するとしております。

(7) 公営企業の経営基盤の強化といたしまして、地方団体が公共事業の経営改善の取組を円滑に行うことができるよう、公営企業経営改革特例債を創設するとしております。

インフラ老朽化に対応するため、上下水道事業に係る地方財政措置を拡充、さらには地域医療提供体制を確保するため、病院事業に係る地方財政措置を拡充するとされております。

東日本大震災分といたしましては、前年度と同様に震災復興特別交付税0.1兆円を確保するとされております。

1 ページの右側の表につきましては、令和8年度の歳入歳出の概要となっております。総額は102.4兆円とされております。

資料4の2ページをお願いします。

令和8年度の涌谷町一般会計予算の歳入になります。

対前年度当初予算との比較と主な増減内容につきましてご説明申し上げます。

1 町税につきましては、町民税、固定資産税で増額を見込み、対前年度9,009万1,000円、5.8%増の16億3,543万2,000円といたしたところでございます。

地方譲与税等でございますけれども、地方揮発油譲与税において、ガソリン暫定税率廃止に伴う減額を見込み、対前年度300万円を減額した8,383万9,000円といたしました。

3 利子割交付金から7 地方消費税交付金までは、県の試算により計上しております。

8 ゴルフ場利用税交付金につきましては、前年度実績見込みにより460万円減額した900万円といたしております。このことにつきましては、70歳以上の利用者は非課税となるため、利用者の高齢化などによるものと推察しております。

9 環境性能割交付金につきましては、令和8年3月31日で制度廃止となるため皆減となっております。

その措置分として、10地方特例交付金で増額となっております。

11地方交付税におきましては、国の地方財政計画で増額が見込まれておりますが、本町におきましては、普通交付税につきましては減額となる見込み、特別交付税につきましては増額を見込み、交付税総額としては前年度並みの31億3,695万1,000円と見込んだものでございます。

12交通安全対策特例交付金、13分担金及び負担金、14使用料及び手数料につきましては、ほぼ前年度並みとなっております。

15国庫支出金につきましては9,730万3,000円の減額となっておりますが、前年度はシステムの標準化、G I G Aスクールのタブレット更新などがあつたため増額となっていたもので、今年度につきましては8億9,566万9,000円といたしております。

16県支出金につきましては、担い手確保経営強化支援事業、農地利用効率化等支援事業により4,638万9,000円増額の6億612万円としております。

17財産収入につきましては、土地建物の貸付料などで、見込みにより前年度から若干減額いたしました1,934万7,000円としております。

18寄附金につきましては、前年度当初予算を上回る1億2,000円といたしました。前年度実績見込みといたしましては、ふるさと納税が1億3,000万円を超えたところでございます。その要因として、米の不足または高騰により、返礼としての米人気がございます。しかし、これまでの米人気は今後も続くとは考えておりませんので、令和8年度におきましては前年度当初を上回る1億円を目標といたしましたものでございます。

19繰入金につきましては、前年度から1億4,949万4,000円増額した4億3,876万8,000円としたところでございますが、増額の要因といたしましては、老健への基準外繰り出し分と小学校の給食費無償化に係る国、県の予算が確定していないことから、交付見込み分について財政調整基金により繰り入れるものでございます。

21諸収入につきましては5,227万2,000円減額し、1億4,665万1,000円としたところでございますが、財源の主な要因は、小中学校の学校給食費を無償化するため、学校給食費徴収分が減額となるためでございます。

22町債につきましても8,734万2,000円減額の4億2,675万8,000円としたところでございます。平成27年、28年で借入れをいたしました箕岳白山小学校整備事業に係る借換え分で増となっておりますが、前年度は防災行政無線の更新があつたため減額となっております。

3 ページをお開き願います。

歳出の性質別についてご説明申し上げます。

対前年度比較及び主な増減内容についてご説明いたします。

義務的経費のうち、1、人件費につきましては、対前年度372万6,000円、0.2%増の15億5,153万5,000円といたしました。人件費につきましては、後ほど総務課長からご説明申し上げます。

2、扶助費につきましては、対前年度1億38万9,000円、9.5%増の11億6,256万7,000円となっております。自立支援給付費、障害児施設給付費などによる増額となっております。

公債費につきましては、歳入でもご説明いたしましたけれども、長期債元金で平成27年、8年に借入れした箕岳小学校整備事業の借換え分が増額したことなどによりまして1億5,897万5,000円、23%増の8億4,933万

4,000円となっております。

4、物件費につきましては、前年度、ふるさと納税の事務委託料や住民情報システム使用料の増額となったものの、住民情報システム標準化対応委託業務やG I G Aスクールタブレットの更新で減額となりまして、対前年度262万4,000円、0.2%減の13億1,763万9,000円となったものでございます。

5、維持補修費につきましては、天平の湯施設設備修繕などで増額となっております、対前年度635万9,000円、10.6%増の6,624万3,000円となったものでございます。

6、補助費等につきましては、担い手確保経営強化支援事業補助金や企業立地奨励金などの増により、前年度比7,736万3,000円、4.0%増の20億831万8,000円となったものでございます。

7、普通建設事業費の補助事業につきましては、さくらんぼこども園の改修工事などにより9,673万5,000円の減、単独事業につきましては、防災行政無線設備の更新などにより減額となったものでございまして、対前年度1億9,819万8,000円、34%減の3億8,420万7,000円となったものでございます。

9、積立金につきましては、ふるさと納税の増額によるふるさと涌谷創生基金積立金を増額と見込むため、前年度比1,000万円、18.4%増の6,424万9,000円となったものでございます。

10、投資及び出資金におきましては、下水道会計への繰り出しが増えたことから、前年度比105万円、1.0%増の1億572万円となったものでございます。

11、貸付金につきましては、ふるさと納税返礼品として、新たな日本酒を製造するためのつなぎ資金貸付金は増額となったものの、ハトムギ茶製造資金が減額となったため、対前年度比150万円、1.6%減の9,045万円となっております。

12、繰出金につきましては、国保、介護、各会計への繰出金などで減額となっており、883万2,000円、1.8%減の4億9,005万6,000円となったものでございます。

以上、令和8年度当初予算は、対前年度比で1億4,670万8,000円増の歳入歳出総額を81億1,031万8,000円としたものでございます。

4ページをお開きください。

4、歳出目的別につきましては、款ごとの予算額になりますので、ご参照願いたいと思います。

5ページをお開き願います。

町財政の現状につきましてご説明申し上げます。

各表につきましては、年度ごと記載しておりますけれども、令和7年度につきましては現計予算ということで掲載させていただいております。

まず左上、町税収入、地方交付税及び地方一般財源の表をご覧ください。そのうち、町税の収入につきましては、町民税で米の価格高騰により農業所得などが増加していることから、個人住民税の増額を見込んでおります。

また、固定資産税につきましては、町内企業の新規設備投資による償却資産の増加などで、全体として増収を見込んでおります。

右上のグラフ、地方交付税におきましては、国の地方財政計画で増額が見込まれておりますが、本町におきましては、普通交付税では減額を見込み、特別交付税は増額を見込んでおりまして、交付税総額としては前年度

並みとしたものでございます。

左下の経常的経費の状況になります。一般財源と経常的経費を比較しているグラフと表でございます。グレーの一般財源の計が、黒の経常的経費よりも大きければ、財政に余裕があるということになりますが、令和8年度におきましても、経常的経費が一般財源を上回っている状況でございます。

続きまして、右側の下の部分、年度末基金残高の財政調整基金の欄でございますが、令和7年度の現計につきましても14億9,258万3,000円となっておりますが、令和8年度の予算編成におきましても、老人保健施設事業会計へ繰出金の財源といたしまして1億円ほど取り崩したことから、当初予算編成時点では13億5,932万3,000円となり、基金全体としては令和6年度をピークに減ってきている状況でございます。

6ページをお願いします。

目的別の推移でございます。4ページの表をグラフ化したものでございます。

右側は公営企業会計等に対する繰出金、負担金、出資金のグラフと表になります。令和8年度におきましても、病院事業会計につきましても、繰り出し基準により金額を算定しております。

また、老人保健施設会計及び訪問ステーション会計におきましても、繰り出し算定基準を病院に準じ見直しているところでございますが、老人保健施設会計においては資金不足が見込まれるため、昨年度に引き続き繰出金を増額しております。

その下は、公債費になります。財政非常事態宣言以降より償還額を増やしてきたため、地方債の年度末残高の減少幅が大きくなっております。今後も後年度負担を考慮しながら財政運営を行ってまいります。

7ページから9ページに負担金及び補助交付金に関する調べを掲載しております。

最後に、当初予算でご説明いたします主な事業概要でございますけれども、これまでは一般会計及び特別会計予算の主な事業概要と第五次涌谷町総合計画の実施計画としておりましたが、今回から第六次総合計画の実施計画として、主な事業指標や3か年の事業費の見込みを掲載した形に変えております。

また、次年度につきましても、これに評価についても追加し、総合計画の進捗が見えるようにしたいと考えておりますので、ご承知おきいただきたいと思います。

以上で歳入歳出の総括説明を終わります。

次に、町税につきまして税務課長から申し上げます。

○税務課長（木村 治君） それでは、町税について説明いたします。

一般会計予算書12ページ、13ページをお開き願います。

歳入、1款町税になります。

令和8年度の町税につきましては、課税実績などを考慮し積算したところでございます。町税の総額につきましては16億3,543万2,000円、対前年度9,009万1,000円、5.8%の増となりました。内訳につきましては、現年課税分のみを税目ごとに説明したいと思います。

初めに、1項1目町民税個人1節現年課税分4億9,360万円、対前年度4,640万円、10.4%の増となりました。これまでの実績額などを考慮し編成しているところでございますが、特に米の価格高騰に伴う農業所得の増加及び課税者数が増えていることが影響しているところでございます。

次に、2目町民税法人1節現年課税分6,470万円、対前年度550万円、9.3%の増になります。こちらも実績見

込みによる積算になりますが、主な要因については、令和7年度課税対象の法人数が若干増えていることが影響しているところでございます。

次に、2項1目固定資産税1節現年課税分8億8,280万円、対前年度5,170万円、6.2%の増となります。主な要因になりますが、土地については、昨年度と同額程度になりますが、家屋及び償却資産につきましては、令和7年度、新たに進出されました企業の工場の新設や設備投資の影響が大きいものと考えているところでございます。

次、14ページ、15ページをお開き願います。

2目国有資産等所在市町村交付金及び納付金77万5,000円、対前年度8万4,000円の増額になります。こちらは、町内に国、県が所有する資産について、固定資産税相当額を交付されるものでございます。

次に、3項軽自動車税になります。

初めに、令和7年度まで予算計上しておりました軽自動車の取得時に課税されます環境性能割につきましては、令和8年度の税制改正に伴い廃止になるところでございます。

また、環境性能割の廃止に伴い、令和7年度までの軽自動車税種別割を1目の軽自動車税に名称を変更するものでございます。

それでは、軽自動車税、1節現年課税分については6,600万円、対前年度360万円、5.8%の増となります。主な増額の要因については、前年度と比較し登録台数は減少しておりますが、初回検査から13年が経過した軽自動車に対して税率が上がる重課税の対象車両が増えたことが影響しているところでございます。

次に、4項町たばこ税1億1,280万円、対前年度1,060万円、8.6%の減額となります。たばこについては、税率の引上げや健康志向の高まりも影響してか、近年たばこの消費量が減少していることもありまして、減額を見込んでいるところでございます。

続いて、各税目の滞納繰越分につきましては、前年度の収入状況等を考慮し、計上しているところでございます。

なお、収納につきましては、口座振替やキャッシュレス納付などを推進し、また県滞納整理機構と連携して徴収対策に取り組み、収納率の向上に努めていきたいと考えているところでございます。

以上で町税については説明を終わります。

○総務課参事兼課長兼デジタル行政推進室長（内藤 亮君） 続きまして、人件費についてご説明いたします。

定例会資料4の10ページをお開き願います。表題に、一般会計及び特別会計予算の人件費調とある資料につきまして、お開き願います。

職員人件費につきましては、私の総括説明をもちまして、一般会計及び各種特別会計の職員人件費の説明を省略させていただきます。

まず、こちらの10ページの表ですが、各項目2段書きになっております。上段の白い部分が令和7年度当初予算、下段の網かけの部分が令和8年度当初予算の数値となっております。さらに、網かけ部分につきましては、2つ数字が並んでおりますが、左側の数字は前年度数値との比較、右側の数値が令和8年度の数値となっております。

それでは、1の一般会計から順にご説明いたします。主に下段の網かけ部分で説明させていただきます。

まず、一般会計の議長、副議長、議員の欄をご覧ください。

給与費の職員手当等で18万3,000円増の1,282万4,000円となりますが、こちらは人事院勧告に準じ、期末手当の支給月を引き上げたことによるものでございます。共済費等78万6,000円の減額につきましては、議員共済の率が引き下げられたことによるもので、一番右側、合計におきまして、前年度と比較して60万3,000円減額の6,053万7,000円となるものでございます。

次に、町長、副町長、教育長でございますが、こちらはおおむね前年度と同様の内容となっております。合計で、前年度と比較しまして26万9,000円増額の4,220万円となるものでございます。

次に、その他特別職につきましては、人数で296人減の570人と大きく減員となっております。こちらにつきましては、昨年度執行されました参議院議員選挙及び宮城県知事選挙、また国勢調査の調査員等につきまして、今年度、予定がないことから減員となるものでございます。これに伴い、報酬で845万7,000円減額となり、その他特別職合計で7,676万1,000円となるものでございます。

次の一般職員につきましては、当初予算書の給与費明細でご説明いたしますので、一般会計当初予算の190ページ、191ページをお開き願います。

初めに、190ページのア、会計年度任用職員以外の職員、正職員でございますが、上段の表、職員数の比較の欄をご覧ください。職員数につきましては、退職や新規採用のほか、令和7年度中の各会計間の異動等を差し引きし、前年度と比較し1人増の160人となるものでございます。

給与費につきましては、給料で2,835万5,000円増の5億9,966万4,000円、職員手当で660万8,000円増の2億9,877万円となるものですが、こちら要因といたしましては、令和7年度の人事院勧告に準じ、給料月額の変更に伴う増額、職員手当につきましては、期末勤勉手当の支給月を引き上げたことによるもので、共済費と合わせまして、合計で前年度と比較して4,514万5,000円増額の10億8,197万7,000円となるものでございます。

次に、191ページ、右側のページとなります。イの会計年度任用職員でございますが、職員数におきまして、前年度と比較して33人減の96人となるものでございます。要因といたしましては、幼稚園統合に伴い、幼稚園及びさくらんぼこども園の会計年度任用職員がフルタイム、パートタイム合わせて22名減員となるほか、選挙事務や国勢調査などに係る会計年度任用職員で減員となったことによるものでございます。

給与費におきましては、給与改定により増額となるものの、人数の減に伴い、報酬で650万3,000円の減額、給料で1,369万9,000円の減額、職員手当で726万4,000円の減額、共済費559万2,000円の減額と合わせ、合計で前年度と比較して3,305万8,000円減の2億3,717万円となるものでございます。

それでは、議会資料10ページの表にお戻り願います。

1、一般会計の計の欄をご覧ください。令和8年度当初は、人数が328人減の842人、給与費の報酬で1,496万円減額の2億2,511万1,000円、給料で1,465万6,000円増額の6億6,617万3,000円、職員手当で4万1,000円減額の4億3,095万2,000円、共済費で407万1,000円増額の2億2,929万9,000円となり、一般会計合計で前年度と比較しまして372万6,000円増額の15億5,153万5,000円となるものでございます。

次に、2、国民健康保険事業勘定特別会計でございますが、人数につきましては前年度と変わりございません。給与費につきましては、給与改定により増額となりますが、給料につきましては、会計間の異動等により給料月額に差がございますことから減額となるもので、計の欄、報酬で184万8,000円増額の369万4,000円、給料で

12万8,000円減額の1,059万6,000円、職員手当で83万円増額の763万8,000円、共済費で49万3,000円増額の423万4,000円となり、合計で前年度と比較して304万3,000円増額の2,616万2,000円となるものでございます。

次に、3、介護保険事業勘定特別会計でございますが、こちら人数で5名増員となっておりますが、こちらにつきましては、その他特別職で今年度、介護保険計画策定委員につきましては、新たに増員するものでございます。給与費につきましては、給与改定や会計間異動等による増減で、計の欄、報酬で18万7,000円増額の548万1,000円、給料で20万8,000円減額の3,155万7,000円、職員手当で245万5,000円増額の2,024万4,000円、共済費等54万1,000円の増額と合わせ、合計で昨年度と比較して297万5,000円増額の6,737万2,000円となるものでございます。

次に、4、水道事業会計でございますが、人数につきましては変更ございません。給与費につきましては、給与改定によりそれぞれ増額となり、報酬で12万7,000円増額の93万5,000円、給料で73万2,000円増額の1,763万4,000円、職員手当で45万4,000円増額の1,063万4,000円、共済費28万9,000円の増額と合わせ、合計で前年度と比較して160万2,000円増額の3,455万円となるものでございます。

次の5、下水道事業会計につきましても、人数に変更はございません。先ほどの水道事業会計と同様、給与改定により、給料で51万8,000円の増、職員手当等で51万2,000円の増、共済費で21万9,000円の増額となり、合計で前年度と比較しまして124万9,000円増額の2,906万6,000円となるものでございます。

続いて、6、国民健康保険病院事業会計でございます。一番上、センター長の欄、職員手当等でございますが、これまでセンター長が担っていた診療等につきましては、他の常勤医師が担うこととなったことにより、手当等が減となるため391万4,000円減額の1,447万9,000円となり、センター長の合計におきまして2,375万5,000円となるものでございます。

一般職員につきましては、人数で6名増となっておりますが、こちらにつきましては医師3名及び会計年度任用職員3名が新たに配属されることによるものでございます。給与費につきましては、給与改定に伴う増のほか、医師等が増員となったことにより、報酬で559万3,000円の増、給料で3,762万7,000円の増、職員手当等で4,789万3,000円の増、共済費1,296万6,000円の増額となり、合計で前年度と比較して1億407万9,000円増額の12億2,452万2,000円となるものでございます。

次に、7、老人保健施設事業会計ですが、職員数につきましては、会計年度任用職員1名が増員となり、68名となるものでございます。給与費につきましては、給与改定等に伴い、報酬で120万1,000円の増額、給料で735万4,000円の増、職員手当等で511万1,000円の増、共済費等で371万1,000円の増額となり、合計で前年度と比較しまして1,737万7,000円増額の4億3,144万7,000円となるものでございます。

続いて、8、訪問看護ステーション事業会計でございますが、人数につきましては、看護師1名が増員となり、9名となるものでございます。給与費につきましては、給与改定及び職員数の増に伴い、給料で305万1,000円の増、職員手当等で843万9,000円の増、共済費等で107万6,000円の増額となり、合計で前年度と比較しまして1,256万6,000円増額の6,860万7,000円となるものでございます。

一番下、全会計の合計でございますが、職員数では、幼稚園統合による会計年度任用職員の減、また選挙立会人など、その他特別職で大幅な減員となり、前年度と比べて315人減の1,144人となるものでございます。給与費及び共済費等では、主に給与改定により増額となりましたことから、合計で前年度と比較しまして1億4,269

万7,000円増額の34億5,701万6,000円となるものでございます。

以上で人件費の総括説明を終わります。

○委員長（門田善則君） 休憩します。再開は11時10分といたします。

休憩 午前10時57分

再開 午前11時10分

〔出席委員数休憩前に同じ〕

○委員長（門田善則君） 再開します。

これより議案第22号 令和8年度涌谷町一般会計予算の歳出の説明を求めます。

款項の説明につきましては、新規事業あるいは重点事項に絞って、また施政方針の関連があるものについて説明をいただきます。経常経費につきましても同様をお願いいたします。

各課、順次説明願います。

○議会事務局長（渡邊千春君） それでは、予算書50ページ、51ページをお開き願います。

歳出でございます。

1款1項1目細目2議会管理運営経費です。対前年度44万2,000円の減額となっております。先ほど総務課長から説明ありました期末手当の増額、議員共済組合負担金の減額のほか、7節①報償金で、近年の議会を取り巻く環境の変化を踏まえ、より専門性の高い講師を招聘する必要があるため、研修講師謝礼を前年度から3万円増額しております。

そのほか、12節①会議録調製業務委託料は、過去の執行状況により10万9,000円減額して計上しております。

その他の費用については、ほぼ前年度同額となっております。

52ページ、53ページをお開き願います。

終わります。

○総務課参事兼課長兼デジタル行政推進室長（内藤 亮君） 2款総務費1項1目細目2一般管理経費につ

きましては、総額4,710万6,000円で、前年度比675万3,000円の増額となっております。主な増額の内容といたしましては、次の54ページ、55ページ、お開き願います。一番上でございます会計年度任用職員の報酬等につきまして、人数の増加に伴い増額となるほか、9節町長交際費につきましては、今年度、韓国から来町されるということもございますので、前年度より30万円増額の240万円を計上しております。

また、13節使用料及び賃借料の公用車リース料で、町長公用車のリース料を新たに計上したことなどにより増額となるものでございます。

そのほかの経費につきましては、前年度とほぼ同様の内容となっております。

56ページ、57ページをお開き願います。

細目3職員研修経費につきましては、総額250万8,000円で、前年度比3万8,000円の増額となっております。今年度は市町村職員研修所の研修に100名、東北自治研修などの研修に10名を見込むほか、庁舎内研修につきましても、研修内容については未定でございますが、開催する予定としております。

なお、総合計画実施計画の15ページに記載しておりますので、後ほどご覧いただければと思っております。
終わります。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） 細目5ふるさと納税事業経費につきましては、歳入において、令和7年度より6,000万円増の1億円を見込みましたことから、経費につきまして、委託料を含め5,000万円に増額させていただきました。実施計画書は16ページに掲載しております。歳入の総括説明でも申し上げましたが、令和8年度は前年度当初より増額したふるさと納税額を計上いたしましたので、経費につきましても増額したものでございます。今後とも、ふるさと納税の返礼品として喜ばれるものを提供していく所存でございます。

2目細目1広報広聴費につきましては、次の59ページまでとなっております。広報「わくや」、ホームページ等の作成等に係る経費を計上させていただいておりますが、広報紙印刷単価の増額により、前年度比34万6,000円の増額とした501万9,000円としております。実施計画につきましては、17ページ、18ページに掲載しております。

終わります。

○会計管理者兼会計課長（久道正恵君） 3目会計管理費細目1会計事務経費でございます。前年比で725万2,000円の減となっております。減額の主なものは、11節役務費②手数料241万1,000円のうち、振込手数料163万7,000円は、公金の振込手数料について、指定金融機関である七十七銀行へ支払いを行っているもので、令和7年度実績により、対前年比76万3,000円の減となっております。

次に、12節委託料につきましては、公金収納トータルサービス業務委託料について、委託先から2年後の業務撤退が示されたことに加え、国が進めておりました住民情報システム標準化後の利用継続にはシステム改修費用として約1,000万円の負担が必要となることから、住民情報システム標準化に合わせて委託を見直し、前年比で629万6,000円の減となっております。

終わります。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） 4目細目1管財一般経費は、対前年度141万9,000円増額した407万8,000円といたしましたものでございます。増額の要因といたしましては、令和8年度においては特殊建築物の定期報告業務が増となるためでございます。

終わります。

○総務課参事兼課長兼デジタル行政推進室長（内藤 亮君） 続きまして、細目2庁舎管理経費につきましては、総額2,050万7,000円で、前年度比13万1,000円の減額となっております。主な増減の内容でございますが、次の60ページ、61ページをお開き願います。12節委託料で、昨年度より30万円の増額、17節備品購入費におきましては、故障しております議員控室のエアコン購入費としまして65万円の増額となりますが、昨年度計上しておりました工事請負費が皆減となるため、総額では減額となるものでございます。

終わります。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） 5目細目1企画調整経費、対前年度613万8,000円増の4,964万1,000円としております。

7節①報償金として、令和7年度で債務負担させていただいております活力あるまちづくり大賞賞金に100万円計上しております。町の補助金に頼らず町民主体で行っているイベントなどに報償金を出すもので、黄金賞

には50万円、金賞には30万円、銀賞には20万円を賞金として贈るものでございます。実施計画書は21ページでございます。

また、韓国林川面との交流につきましては、春に韓国扶餘郡林川面から訪問団を招致している費用と、今年度は高校生を対象とした林川面訪問事業を計画しておりまして、交流を深めるとともに国際感覚を育み、持続可能な交流を目指してまいります。実施計画書は20ページでございます。

また、令和8年度は千葉氏サミット開催の案内が来ておりますことから、その経費を計上しております。

さらに、前年度試行いたしましたワーキングホリデー事業につきましては、拡大して実施する費用を計上しております。また、涌谷町との交流人口、関係人口を増やしてまいります。この事業につきましては、費用の2分の1が特別交付税措置となるものでございます。実施計画については19ページでございます。

62ページ、63ページをお開き願います。

18節②一部事務組合負担金、大崎広域行政事務組合負担金2,640万円につきましては、組合の算定により計上しております。

④補助交付で、涌谷地域振興公社運営費補助金500万円につきましては、前年度同額計上しております。

20節①貸付金、地域振興事業つなぎ資金貸付金550万円は、前年度から150万円減額となっております。令和8年度は、ふるさと納税返礼品として、新たな日本酒の製造をしておりまして、50万円増額して、町内の酒販小売店の有志が集まった任意団体に対しまして、運営経費貸付けを行うものでございます。ハトムギ茶製造の貸付金につきましては、今年度は実施しないことといたしましたので、減額となっております。

細目2財政管理経費につきましては、前年度並みでございまして、財務会計システムリース料などを計上しております。

細目3基金管理経費5,000万2,000円は、前年度比1,000万円増となっております。ふるさと納税額の増額を見込み、納税額から経費を引いた分を、ふるさと涌谷創生基金に積み立てるものでございます。ふるさと涌谷創生基金につきましては、歳入で1億2,560万円の繰入れを見込んでおりまして、本予算可決後の基金残高につきましては5億2,306万9,000円となるものでございます。

同じく、震災復興基金につきましては、歳入で8万円の繰入れを見込んでおりまして、本予算可決後の基金残高は446万4,000円となります。

終わります。

○総務課参事兼課長兼デジタル行政推進室長（内藤 亮君） 続いて、細目4情報化推進経費でございますが、総額2億1,520万5,000円となり、前年度比3,610万9,000円の増額となるものでございます。主な増額の内容でございますが、昨年度計上しておりました住民情報システムの標準化に関する費用につきまして皆減となりますが、新たに12節委託料で、町長の施政方針でも申し上げました住民票等のコンビニ交付サービスに係る費用が追加となるほか、13節使用料及び賃借料では、住民情報システムリース料及びパソコン等リース料で大きく増額となるものでございます。なお、コンビニ交付に係る経費につきましては、国の地域未来交付金（デジタル実装型）を活用し、こちらは補助率2分の1で交付されるものでございます。

また、18節④補助交付金で、今年度につきましても地デジ共聴施設耐災害性強化事業補助金といたしまして、過去に地デジ難聴地域に設置いたしました共同アンテナ施設につきまして、老朽化により改修するための補助

金を計上しております。今年度は、上小塚地区のテレビ組合を予定しております。なお、こちらにつきましては、財源といたしまして、無線システム普及支援事業費等補助金、こちらも補助率2分の1を財源として見込んでおります。なお、実施計画の22ページ、23ページに掲載しておりますので、詳細につきましてはそちらをご確認願います。

終わります。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） 前年度、細目5としてございました総合計画策定経費につきましては皆減となっております。

細目6地域公共交通対策経費につきましては、対前年度140万7,000円減額した5,706万1,000円としております。議案第8号で浦谷町町民バス条例の一部を改正する条例でご説明いたしましたとおり、一部のバス路線を廃止し、新規に乗合タクシー事業145万1,000円を計上しております。実施計画は24、25ページでございます。

細目9地域おこし協力隊事業費につきましては、ほぼ前年度並みの2,912万6,000円としております。

66ページ、67ページをお願いいたします。

令和8年度におきましては、会計年度型継続が3名と新規会計年度型1名分、委託型1名分、合計5名分の予算計上をしております。今後も、地域おこし協力隊の活動により、資源の発掘、認知度の向上や課題解決に取り組んでいただき、町の活性化、定住人口の増加にもつながっていくことを目指しております。実施計画は26ページでございます。

細目12わくや万葉の里施設経費につきましては、対前年度656万3,000円増の3,832万2,000円となったものでございます。天平ろまん館の照明灯をLED化する工事などを実施いたしております。実施計画は27ページでございます。

細目13健康文化複合温泉施設経費は、対前年度5,714万6,000円増の1億393万6,000円といたすものでございます。修繕料におきまして、老朽化した温泉のろ過配管やろ材交換といった修繕に加え、次の68、69ページをお願いいたします。12節①委託料、健康文化温泉施設指定管理料2,700万円につきましては、前年度から225万円ほど減額となっております。

14節①工事請負費、施設整備更新工事においては、屋上防水工事を実施いたしまして、雨漏りを防ごうとするものでございます。

入浴者数につきましては増加傾向にあり、令和7年度も14万人を超えるものと考えております。実施計画書は28ページでございます。

終わります。

○総務課参事兼課長兼デジタル行政推進室長（内藤 亮君） 6目細目1公平委員会費でございますが、4万7,000円で、前年度同様に県の公平委員会への委託費負担金を計上するものでございます。

終わります。

○町民生活課参事兼課長（今野優子君） 7目細目1行政区長関係経費3,713万4,000円でございますが、前年度比3万2,000円の減額でございます。行政区長報酬は、人口や世帯数の減少による減額になります。現在の行政区長の任期は令和9年度までになります。

終わります。

○総務課参事兼課長兼デジタル行政推進室長（内藤 亮君） 8目細目1交通安全対策経費につきましては、総額886万4,000円で、前年度比14万3,000円の増額となるものでございます。

次のページをお開き願います。

18節④高齢運転免許取得者教育支援補助金につきましては、前年度と同額の5万円、20名分を見込んでおります。

令和8年度も引き続き死亡事故ゼロが続くよう、また、そのほかの事故につきましても1件でも減少するよう、交通安全の推進を図ってまいりたいと考えております。実施計画は29ページに記載しております。

続きまして、9目細目1職員福利厚生経費につきましては、総額256万9,000円で、前年度比34万7,000円の増額となるものでございます。主な増額の内容につきましては、12節委託料の職員健診委託料で、健診単価の値上げにより増額となるものでございます。

終わります。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） 10目細目1コミュニティ事業経費でございます。対前年度61万7,000円減額の245万6,000円となっております。集会所等整備事業補助金の減額が主な理由となります。実施計画書は30ページとなります。

細目2移住定住促進事業経費は、対前年度180万円増額した856万6,000円といたしました。

18節④補助交付金において、新たに涌谷結婚新婚生活応援補助金180万円を計上したものでございます。こちらにつきましては、以前、若手職員のプロジェクトチームから提案もあり、予算化したものでございまして、涌谷町に5年以上定住の意思があること、税の未納がないこと、暴力団でないことなどが条件で、住宅の取得費用、リフォーム費用、住宅の賃借費用などを対象事業といたします。夫婦共に29歳未満の場合は60万円、39歳以下かつ世帯所得が500万円未満の場合は30万円を上限に補助することとしております。実施計画は31ページとなります。

72、73ページをお開きください。

11目細目1基金管理経費でございます。

27節①繰出金、土地開発基金繰出金1,000円につきましては、利子分について科目設定を行うものでございます。

12目細目1基金管理経費24節①積立金、財政調整基金積立金510万円につきましては、歳入で見込んでおります前年度繰越金1,000万円の2分の1に当たる500万円に加え、利子見込額の10万円を計上するものでございます。当初予算において1億3,836万円を取り崩してございまして、本予算可決後の基金残高につきましては13億5,932万3,000円となるものでございます。

13目細目1基金管理経費24節①減債基金積立金10万円となります。こちらにつきましては、利子見込額を積み立てるものでございます。こちらも当初予算において9,142万円取り崩してございまして、本予算可決後の基金残高につきましては5億984万9,000円となるものでございます。

終わります。

○総務課参事兼課長兼デジタル行政推進室長（内藤 亮君） 続きまして、14目細目1防犯経費につきましては、総額1,149万7,000円で、前年度比150万8,000円の増額となるものでございます。増額の主な内容でございます

が、10節需用費の⑤光熱水費におきまして、防犯灯の電気料金といたしまして、前年度に比べまして108万円の増額、また同じく需用費⑥修繕料で47万4,000円の増額を見込むものでございます。なお、令和8年度予算には、予算は発生いたしません、債務負担行為に計上しております防犯灯のLED照明事業につきまして、令和8年度から実施し、涌谷町全地区の防犯灯につきましてLED化を図ろうとするものでございます。

続きまして、細目2その他諸費でございますが、総額178万4,000円で、前年度比10万3,000円の減額となるものでございます。昨年度は委託料におきまして、戦後70周年の戦没者追悼式委託料10万円を計上しておりましたが、今年度はございませんので、その分減額となるものでございます。

終わります。

○町民生活課参事兼課長（今野優子君） 74ページ、75ページをお開きください。

15目細目1消費者対策経費95万9,000円でございますが、消費生活相談員の報酬や啓発用の物品の費用を計上しております。前年度比7万円の増額になりますが、消費生活相談員の報酬の改定による増額になります。

終わります。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） 16目細目1基金管理経費24節①積立金、公共施設等総合管理基金積立金250万1,000円は、令和6年度から積立てを開始しております、繰越し見込みの4分の1と利子見込額を計上しております。本予算可決後の基金残高は5億1,773万9,000円となるものでございます。

終わります。

○税務課長（木村 治君） 次に、2項徴税費細目2税務事務経費537万3,000円につきましては、次の76ページ、77ページをお開き願います。こちらは人件費をはじめ、税に係る各種負担金等を計上しているところでございます。

次に、2目細目1賦課事務経費4,882万3,000円につきましては、税の賦課に係る手数料及び電算処理業務をはじめ各種業務委託料について計上しているところでございます。対前年度735万8,000円の増額になりますが、主な増額の要因については、12節委託料のうち、税システム改修業務委託料1,298万円の増額になります。こちらは、システムの標準化などに伴いまして、各種税システムの改修業務が必要になったものでございます。その他賦課事務経費につきましては、物価高騰などの影響もあり、通信運搬費などが増額しておりますが、その他はおおむね前年同様の額について計上しているところでございます。

終わります。

○町民生活課参事兼課長（今野優子君） 78ページ、79ページをお開きください。

3項1目細目2戸籍住民台帳事務経費1,861万2,000円でございますが、戸籍及び住民基本台帳等の事務に要する所要額を計上しております。前年度比1,162万7,000円の減額になります。主な要因といたしましては、今年度予定されている戸籍システムの標準化移行業務委託料の減額と、前年度事業の戸籍振り仮名通知書作成発送業務が終了したことによる減額となります。

80ページ、81ページをお開きください。

以上で終わります。

○総務課参事兼課長兼デジタル行政推進室長（内藤 亮君） 4項1目細目1選挙管理委員会経費につきましては、総額14万円で、前年度比6万6,000円の減額となるものでございます。前年度同様、選挙管理委員の報酬等につ

いて計上するものですが、消耗品費で前年度より減額となっております。

続いて、8目細目1 涌谷町長選挙費3万1,000円につきましては、令和9年4月または5月に執行予定の涌谷町長選挙につきまして、事前の選挙管理委員会に係る経費について計上するものでございます。なお、現在の町長の任期につきましては、令和9年5月25日となっております。

終わります。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） 5項1目統計調査総務費細目1 統計調査事務経費につきましては、前年度と同額5,000円となっております。

2目細目26経済センサス調査区管理8,000円、細目27経済センサス活動調査、82ページ、83ページにかけてでございますけれども、101万3,000円につきましては、令和8年度実施する予定の経済センサス活動調査に係る費用となります。

終わります。

○議会事務局長（渡邊千春君） 6項1目細目1 監査委員経費、監査委員事務局に係る運営経費で、対前年度7万円増の171万2,000円を計上しております。増額の主な要因といたしましては、監査機能の充実及び監査対象事案の増加に対応するため、8節旅費と18節③その他負担金を増額しております。

終わります。

○福祉課参事兼課長（鈴木久美子君） 3款民生費になります。実施計画につきましては34ページからになります。次の84、85ページをお開き願います。

1項1目細目2 社会福祉事務経費854万6,000円につきましては、社会福祉協力員報酬をはじめとする社会福祉全般に係る経費を計上いたし、対前年度107万9,000円の減額となっております。減額の主な要因といたしましては、今年度に策定いたしました第7期涌谷町地域福祉計画策定に係る委託料90万円の皆減によるものです。

終わります。

○健康課長（徳山裕行君） 細目3 国民健康保険対策経費1億1,788万8,000円、対前年度1,348万円の減額でございます。内訳として、基盤安定繰出金は、保険税軽減補填分に対しての繰出金、職員給与等繰出金は、国保会計の事務運営に要する一般管理経費や賦課徴収経費となっております。財政安定化支援事業繰出金は、低所得者や高齢者の割合が高いなどの財政事情に応じた補填金で、交付税措置がされております。産前産後保険料繰出金及び未就学児均等割保険料繰出金につきましては、保険税軽減補填分に対しての繰出金となります。減額の主な要因ですが、出産育児一時金の地方交付税の財政措置の廃止に伴い減額となったものです。

終わります。

○福祉課参事兼課長（鈴木久美子君） 細目9 重層的支援体制整備事業費1,809万7,000円につきましては、重層的支援体制整備事業に係る社会福祉協議会への委託料など、前年度同額を計上しております。

次の86、87ページをお開き願います。

終わります。

○町民生活課参事兼課長（今野優子君） 2目細目1 国民年金事務経費108万4,000円でございますが、国民年金の事務手続に要する経費を計上しております。前年度比98万7,000円の増額になりますが、国民年金のシステム改修業務委託料分になります。令和7年度税制改正に係る年金生活者支援給付金システム改修分となります。

終わります。

○福祉課参事兼課長（鈴木久美子君） 3目老人福祉費細目1在宅老人福祉経費937万7,000円につきましては、高齢者の在宅での生活を支援する経費になります。人件費を除き、対前年度40万3,000円の増額となっておりますが、主な要因といたしましては、18節扶助費、紙おむつ支給費の増額によるものでございます。

細目2敬老事業経費91万円につきましては、100歳の敬老祝金1人当たり10万円を9人分計上しております。

細目3基金管理費1,000円につきましては、科目設定でございます。

細目4老人保護措置経費1,938万4,000円につきましては、老人保健法に基づく処遇困難高齢者に係る養護老人ホームへの措置入所費用でございます。

次の88、89ページをお願いいたします。

対前年度261万9,000円の増額となっております。入所者数7名に変更はございませんが、老人保護措置費単価の改定や様々な加算の見直し等により減額となったものでございます。

終わります。

○健康課長（徳山裕行君） 細目5介護保険対策経費3億52万8,000円、対前年度193万9,000円の減額でございます。内訳として、介護保険介護給付費繰出金2億1,955万7,000円につきましては、町の法定負担割合分として12.5%を計上しております。

介護保険職員給与費等繰出金及び介護保険事務費繰出金は、介護保険会計の事務運営に要する一般管理経費や賦課徴収事務経費となります。

介護保険介護予防・日常生活支援総合事業費繰出金につきましては、人件費を含む総合事業費の町の法定負担割合分として12.5%を計上しております。

介護保険その他地域支援事業繰出金につきましては、人件費を含む事業費の19.25%を計上しております。

介護保険低所得者保険料軽減繰出金は、低所得者に係る保険料軽減補填分の負担金として、国2分の1、県、町4分の1ずつをそれぞれ法定負担割合分として繰り出しするものです。減額の主な要因は、低所得者保険料軽減対象者の減によるものです。

終わります。

○総務管理課参事兼課長（紺野 哲君） 細目6介護サービス事業費です。対前年度比1,372万3,000円増の1億3,001万1,000円を措置するものでございます。内容としましては、18節③その他負担金、老人保健施設事業会計負担金について、基礎年金拠出金公的負担経費や児童手当に要する経費及び企業債利子相当を負担金として措置するほか、収支不足に充てる財源も含め1億2,875万7,000円を繰出金として措置するものでございます。

23節①投資及び出資金、老人保健施設事業会計出資金125万4,000円は、老人保健事業会計4条予算に措置する企業債償還相当でございます。

終わります。

○健康課長（徳山裕行君） 細目7後期高齢者医療対策経費2億7,948万2,000円、対前年度1,168万5,000円の減額でございます。

18節②一部事務組合負担金、後期高齢者医療広域連合負担金2億784万4,000円につきましては、広域連合に係る事務費、共通経費及び医療保険の療養給付費に対する町の負担分12分の1を広域連合から示された金額で計

上するものです。

27節①繰出金7,163万8,000円、対前年度723万7,000円の増額でございます。後期高齢者医療保険基盤安定繰出金につきましては、低所得者に係る保険料軽減補填分として広域連合から示された金額を計上しており、後期高齢者医療保険事務費繰出金につきましては、事務運営に要する経費を計上しております。

終わります。

○福祉課参事兼課長（鈴木久美子君） 細目10重層的支援体制整備事業費1,729万6,000円につきましては、主に地域包括支援センターの運営に係る経費になります。対前年度183万9,000円の減額となっておりますが、主要因といたしましては、12節介護予防支援事業委託料の減額によるものでございます。

次の90、91ページをお開き願います。

4目障害者福祉費細目1在宅障害者福祉費4,279万6,000円につきましては、障害者の在宅での生活を支援するための経費になります。対前年度305万2,000円の増額でございますが、主要因といたしましては、19節扶助費、心身障害者医療費助成金の増額によるものでございます。

細目6障害者自立支援費4億8,447万1,000円につきましては、障害者総合支援法に基づく障害者の日常生活及び社会生活を支援するための自立支援サービスに係る経費になります。

次の92、93ページをお願いいたします。

対前年度5,414万4,000円の増額となっておりますが、増額の主要因といたしましては、12節委託料において、障害者の自立及び社会参加の支援等の施策について、総合的かつ計画的推進を目的として策定する第8期障害福祉計画及び第4期障害児福祉計画策定委託料によるもの、また19節①扶助費、自立支援給付費及び障害児施設給付費において、前年度実績により増額となったものでございます。

細目7地域生活支援費2,596万5,000円につきましては、障害者の地域生活を支えるための経費でございますが、対前年度158万1,000円の増額となっております。主に、12節委託料において、サービス利用の増を見込み、増額するものでございます。

次の94ページ、95ページをお願いいたします。

細目8重層的支援体制整備事業費12節委託料956万4,000円につきましては、基幹相談支援センター事業は共生の森へ、地域活動支援センター事業は涌谷町社会福祉協議会へ委託しようとするものでございます。障害者等に対する支援の充実を図り、重層事業として、引き続き包括的な支援体制を整備いたそうとするものでございます。

終わります。

○委員長（門田善則君） 昼食のため休憩いたします。再開は午後1時といたします。

休憩 午前11時53分

再開 午後1時00分

〔出席委員数休憩前に同じ〕

○委員長（門田善則君） 再開します。

休憩。

休憩 午後 1 時 0 1 分

再開 午後 1 時 0 3 分

〔出席委員数休憩前に同じ〕

○委員長（門田善則君） 再開いたします。

今、発信の機械の不具合がありまして、発信はできなくなっております。それで、1時間発信なしでやりまして、説明ですので、その後ちょっと不具合を直してということになりますので、ご承知いただきたいと思っております。

それでは、午前に引き続き説明を求めます。

子育て支援課からお願いします。

○子育て支援課長（佐藤明美君） 2項1目児童福祉総務費6億1,976万2,000円、対前年度3,955万1,000円の増額でございます。実施計画書は51ページからになります。

細目3児童手当支給経費につきましては2億2,422万円で、対前年度816万1,000円の減額となるものです。次代を担う児童の健やかな成長を社会全体で支える観点から、子育て家庭の負担軽減を図ることを目的として実施するための経費でございます。こども未来戦略に基づき、所得制限の撤廃、高校生年代までの支給期間延長、多子世帯への加算といった制度改正が行われておりますが、対象児童数の減少の影響により、結果として減額となっております。

細目4保育委託経費は3億256万6,000円で、対前年度5,069万5,000円の増額となっております。増額の主な要因ですが、民間保育所や認定こども園等への委託に係る経費の増及び令和8年度から開始する乳児等通園支援事業に要する経費の皆増でございます。乳児等通園支援事業は、保育所等に所属していない満3歳未満の子供が月10時間までの利用枠の中で、保護者の就労要件を問わず、時間単位で柔軟に利用できる通園制度になります。子供の年齢区分により、1人1時間当たりの給付額が定められておりますので、利用した子供の人数に応じて、町から事業所へ支払うものです。

細目5子ども医療費支給経費5,262万9,000円、対前年度2万3,000円の増額でございます。ゼロ歳から18歳までの子供の医療費助成で、対象者を1,390人と見込んでおります。就学前までの子供に係る経費については、県から2分の1補助を受けるものです。

96、97ページをお開きください。

細目7子育て支援経費931万1,000円、対前年度355万3,000円の減額となっております。減額の主な要因として、涌谷町こども計画委託業務が令和7年度で終了することから、その策定委託料相当分が皆減となるためでございます。

また、新規事業といたしまして、子育て世帯が外出しやすい環境を整備し、子育てに優しいまちづくりの一助として、置き型授乳室設置のための備品購入費94万6,000円を計上しております。本事業は、県補助3分の2を受けて実施するものです。授乳室は、医療福祉センター内、集団健診室付近への設置を予定しております。

細目 8 児童虐待防止対策経費です。972万6,000円、対前年度46万6,000円の増額でございます。増額の主な要因は、会計年度任用職員の人件費が増額となるためでございます。

次の98、99ページをお開きください。

18節④補助交付金の支援対象児童等見守り強化事業補助金につきましては、要保護児童として支援が必要な家庭を定期的に訪問し、食材提供や学習指導、生活状況の把握と安全確認を行うことで、児童虐待の予防と早期発見を図るものでございます。NPO法人への補助を通じ、見守り体制の強化を継続してまいります。なお、本事業は国庫補助3分の2を受けて実施するものでございます。

細目 9 子育て応援団事業費につきましては、子育てを援助したい方、援助を受けたい方の町民による相互援助活動に対する経費で69万8,000円、対前年度 8 万1,000円の増額でございます。利用者の増加が主な要因でございます。

細目15重層的支援体制整備事業費につきましては、子育て支援拠点事業補助金で2,061万2,000円、前年度同額でございます。子どもの丘子育て支援センターと涌谷保育園子育て支援センター運営に対する補助金となります。

3目母子・父子福祉費については、母子・父子家庭の医療費助成などに関する経費で255万6,000円、対前年度55万1,000円の減額でございます。

5目児童福祉施設費につきましては、放課後児童クラブ運営に係る事業費を計上しております。6,263万6,000円、対前年度1,589万4,000円の増額となっております。主な要因は、運営委託料の増額でございます。

100ページ、101ページをお開きください。

6目保育所費につきましては、さくらんぼこども園の運営経費を計上しております。3億1,092万4,000円、対前年度3,853万4,000円の増額となっております。増額の主な要因は、細目 1 職員人件費ですが、町立幼稚園 3 園がさくらんぼこども園に統合されることに伴う増額でございます。

細目 3 こども園経費につきましては、対前年度1,929万6,000円減の9,499万3,000円でございます。減額の主な要因は、会計年度任用職員人件費の減額でございます。

次の102、103ページをお開きください。

10節⑦賄材料費は、給食が自園調理になるため増額となります。

一方、12節委託料において、令和7年度保育士派遣業務委託料の終了、外部搬入給食委託の終了により、それぞれ委託料が皆減となっております。

次の104、105ページをお開きください。

終わります。

○町民生活課参事兼課長（今野優子君） 3項1目細目2災害援護資金事務経費66万6,000円でございますが、災害援護資金管理システムリース料につきましては、前年度同額です。前年度比3万9,000円の増額になります。内容といたしましては、災害援護資金貸付金につきましては、既に償還を終えた方がいらっしゃる一方、償還期限の延長の申入れをしながら、償還を続けている方もいらっしゃいます。今回、全く連絡の取れない滞納者5名に対して、裁判所から支払い督促通知を行うための申立て費用の通信運搬費と手数料を計上するものです。申立て予定件数は5件、請求金額は710万円の予定です。

終わります。

○健康課長（徳山裕行君） 4款衛生費1項1目細目2保健衛生事務経費972万8,000円、対前年度721万5,000円の減額でございます。保健衛生事業に係る事務経費について、年間の所要見込額を計上しております。減額の主な要因は、健康管理システムについて一括管理となったため、その使用料分が皆減となっております。

106ページ、107ページをお開きください。

細目3母子保健事業費1,957万5,000円、対前年度271万9,000円の増額でございます。実施計画は62ページとなります。

108ページ、109ページをお開きください。

母子健康手帳の交付をはじめ、妊婦健診や乳幼児健診など各種健診事業の助成に係る予算を計上しております。また、乳幼児健診につきましては、新たに1か月児健診の助成を行ってまいります。増額の主な要因は、健康管理システムの改修委託料となっております。

18節①国県負担金、産後ケア事業受皿整備負担金47万5,000円につきましては、県内施設での人員確保及び施設改修に要する費用を広域で契約する市町で負担するものです。

19節①扶助費、妊婦のための支援給付交付金550万円につきましては、母子手帳交付見込み者数60人、出産見込み者数50人を予定しており、それぞれ5万円を交付するもので、国庫補助10分の10で実施する事業となっております。

細目4健康づくり推進経費29万3,000円、対前年度232万5,000円の減額でございます。減額の主な要因は、健康推進員の活動につきまして、住民健診の受診票等の配布について郵送等としたことから、謝礼分が皆減となっております。

細目5地域医療対策経費4,458万8,000円、対前年度159万6,000円の増額となります。一次救急として、遠田地区在宅当番医制事業、大崎市及び石巻市の夜間急患センター、二次救急としまして大崎広域病院群輪番制事業、三次救急としまして大崎市民病院及び石巻赤十字病院の救命救急センターとなっており、その運営費負担金を計上するものでございます。負担金につきましては、運営に係る必要経費を、施設を利用した患者数の割合に応じて各市町村の負担割合を算出しており、実績に基づき翌年度に精算されるものでございます。また、令和8年度からは、大崎地区障害者、障害児の歯科診療事業及び大崎地区歯科休日診療事業が新たに開始となります。なお、主な増額の要因は、石巻赤十字病院救命救急センター、石巻市夜間急患センター運営費につきまして、限度額及び受診者の増加によるものです。

細目6食育推進経費17万8,000円、対前年度2,000円の増額となっております。

110ページ、111ページをお開きください。

食育の推進につきまして、町内幼稚園、保育所等で食育セミナーの実施や、ホームページ、広報等を利用して、食育に関するレシピ等を掲載し、情報発信を行っております。

2目予防費細目1予防接種経費2,980万7,000円、対前年度187万4,000円の減額でございます。実施計画は63ページになります。乳幼児から高齢者までを対象にした予防接種費用を計上しており、減額の主な要因は、子宮頸がんワクチンキャッチアップ接種が終了したための減額でございます。また、令和8年度からRSウイルス母子免疫ワクチンと高用量のインフルエンザワクチンが定期接種になります。当初予算への計上ができなかつ

たため、令和8年度はこの予算の中で実施させていただき、不足が生じるようでしたら、その都度補正対応をお願いしたいと考えております。

RSウイルス母子免疫ワクチンにつきましては、せきや発熱などの風邪症状や肺炎の原因となるRSウイルス感染症で、新生児や乳児の重症化を要望するもので、妊婦の方に接種し、生まれた子供に効果が出る母子免疫ワクチンとなります。

高用量のインフルエンザワクチンは、現在のワクチンの約4倍の抗原を含み、より強い免疫をつけられると言われており、これまでのワクチンより高額になることや、75歳以上の方に接種するのが最も効果的と言われております。いずれも対象者が接種機会を逃してしまうことのないよう、広報や個別通知で周知を図っていく予定でおります。

終わります。

○町民生活課参事兼課長（今野優子君） 3目細目1 葬祭場運営経費2,134万6,000円でございますが、18節②一部事務組合負担金は、大崎地域広域行政事務組合の葬祭場の管理運営に係る負担金でございます。前年度比504万3,000円の増額になります。

続きまして、細目2 環境美化推進経費112万6,000円でございますが、空家対策協議会、狂犬病予防注射業務等の経費について計上しております。前年度比16万4,000円の減額となっております。内容といたしましては、12節委託料につきましては、狂犬病予防注射の見込みを前年度の300頭から250頭に減らしました分が減額となるものでございます。集合注射につきましては、接種頭数が減っておりますが、令和8年度も令和7年度と同様に3日間、12会場を予定しております。実施計画は64ページ、65ページになります。

112ページ、113ページをお開きください。

細目4 町営吉住共葬墓地管理経費22万1,000円につきましては、前年度比6,000円の減額でございますが、水道料とくみ取り料の手数料の減額によるものです。

終わります。

○上下水道課長（阿部雅裕君） 続きまして、細目5 生活排水処理施設経費12節①委託料、管路台帳保守業務委託料36万8,000円につきましては、直近の浄化槽法定検査のデータを上水道管路台帳へ移行、統合することで、上下水道管路台帳を構築するものでございます。

18節③その他負担金873万4,000円は、登米市に事務委任している生栄巻地区農業集落排水事業に対する負担金で、前年度比100万3,000円の増でございます。

④補助交付金447万6,000円は、合併処理浄化槽設置整備事業補助金として、7人槽6基及び5人槽6基分を計上しており、前年度比49万2,000円の減でございます。なお、本事業の3分の1につきましては、歳入の循環型社会形成推進交付金を財源としております。実施計画書66ページに記載しておりますので、ご参照いただければと思います。

終わります。

○健康課長（徳山裕行君） 4目細目1 疾病予防対策事業経費3,728万4,000円、対前年度189万5,000円の増額になります。実施計画は67ページになります。増額の主な要因は、健診受診票及び健診申込書の郵送料となります。また、各種がん検診や歯科検診、後期高齢者健診等の必要経費について計上しており、各種検診事業につま

しては受診率向上に取り組み、がんなどの早期発見のため有効な検診を多くの住民の方に受けていただくよう進めているところでございます。

終わります。

○産業振興課長（三浦靖幸君） 5目細目1放射能汚染廃棄物対策経費636万2,000円、対前年比2,410万2,000円の減となります。平成23年3月に発生した東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故により発生した放射性物質を含む稲わらや牧草の処理に係る事業経費でございます。令和8年度は継続して混焼を行うものでございます。令和8年度事業により、全ての放射性物質を含む稲わらの処理が完了する予定でございます。また、翌年度の令和9年度には、混焼するため設置しておりましたテント等を令和9年度に撤去を行う予定としております。

114ページ、115ページをお開きください。

終わります。

○町民生活課参事兼課長（今野優子君） 2項1目細目1塵芥処理経費1億8,480万9,000円でございますが、町内一斉清掃の経費と大崎地域広域行政事務組合への塵芥処理に係る負担金でございます。前年度比929万2,000円の増額となっております。そのほとんどが18節、大崎地域広域行政事務組合の塵芥処理に係る負担金になります。

続きまして、2目細目1し尿処理経費8,536万4,000円でございますが、18節②一部事務組合負担金、大崎地域広域行政事務組合のし尿処理に係る負担金でございます。前年度比1,178万円の減額になります。

終わります。

○上下水道課長（阿部雅裕君） 続きまして、3項1目細目1上水道施設経費18節③その他負担金、水道事業会計負担金9万2,000円及び23節①投資及び出資金、水道事業会計出資金73万6,000円につきましては、黄金山工業団地造成に伴う配水管布設工事の企業債元利償還に対し、水道事業会計へ繰り出すものでございます。

終わります。

○総務管理課参事兼課長（紺野 哲君） 4項1目細目2医療福祉センター管理経費です。対前年度比1,844万6,000円増の5,087万6,000円を措置するものでございます。健康と福祉の丘の運営委員会に係る経費のほか、センター全体の施設管理経費でございます。

116ページ、117ページをお開き願います。

増減の主なものといたしまして、12節①委託料において、特殊建築設備調査業務委託で23万3,000円の減額、13節①使用料及び賃借料では、施設照明灯リース料が59万4,000円増額しております。

14節①工事請負費、冷温水発生機更新工事1,820万円は、老朽化により能力低下や一部不具合を起こしている空調設備を更新するものでございます。

そのほかの項目につきましては、価格高騰などに伴い燃料費が増額しておりますが、ほぼ例年と同様の措置としております。

次に、2目細目1研修館健康パーク運営経費ですが、対前年度比1,945万6,000円減の1,304万1,000円を措置するものでございます。減額の主な要因は、令和7年度に完了いたしました健康の橋改修工事が1,960万円ございました。そのほか、指定管理料、委託料などは前年同額でございます。

118ページ、119ページをお開きください。

3目細目1病院対策経費でございますが、繰り出し基準に基づきます交付税の算定分や、建設改良に要する経費や、医師確保対策に要する経費など、病院会計への一般会計負担金として、対前年度比2,466万1,000円増の3億8,598万2,000円を措置するものでございます。

次の4目細目1訪問看護ステーション対策経費につきましては、訪問看護ステーション事業会計に対し、基礎年金拠出金分や児童手当分といたしまして、対前年度比118万1,000円増の276万円を負担金として措置するものでございます。

終わります。

○農業委員会事務局長（荒木達也君） 6款農林水産業費1項1目細目1委員会運営経費1,371万2,000円でございますが、前年比209万3,000円の減となっております。

1節報酬②委員報酬につきましては、令和8年7月に委員の改選があり、7月まで委員22名分、改選後は委員が12名となることから、年間所要額を試算し、1,010万円を計上するものです。

8節旅費①費用弁償39万8,000円、②普通旅費24万7,000円についても、改選を考慮し、所要の額を計上するものです。

細目2事務局経費でございますが、年間所要額249万1,000円を計上するものです。前年比1万6,000円の増となっております。昨年度と変わった点といたしましては、1節報酬③非常勤職員報酬の農業委員等候補者評価委員報酬4万円並びに8節旅費の①費用弁償8,000円につきましては、委員の改選に伴い、募集人数が定数を超えた際に選任を依頼するための費用となります。

4節に戻りまして、共済費③社会保険料15万6,000円から⑩会計年度任用職員共済組合負担金10万2,000円につきましては、会計年度任用職員の勤務時間の増に伴い、7年度につきましては補正予算で対応しておりましたが、今回、当初予算に計上したものです。

その他の項目につきましては、おおむね昨年並みの計上となっております。

終わります。

○産業振興課長（三浦靖幸君） 3目農業振興費、対前年度比210万2,000円の増となっております。増額等、主なものにつきましては細目1、7節①報償費30万円ですが、安部卓爾記念奨励賞を想定し、計上するものでございます。

122ページ、123ページをお開きください。

獣害対策として、10節②消耗品費及び11節③獣害被害対策実施隊保険料45万3,000円、17節①獣害対策備品購入費140万円を計上しております。

13節①新規就農イベント出展料11万円については、新たな就農者確保のため、県の事業を活用し、東京での相談に係る出展料を計上しており、併せて旅費や印刷製本費も計上しております。

18節③その他負担金は、令和7年度と同様の構成となっております。

④補助交付金についても、令和7年度と同様の構成となっております。新規就農者育成総合対策経営開始資金補助金150万円及び新規就農者育成総合対策経営発展支援事業交付金750万円につきましては、新規就農者1名分を想定しております。新規就農者育成総合対策世代交代初期投資推進事業交付金1,800万円につきましては、

新規2名を想定しております。園芸特産重点強化整備事業につきましては、県事業で、歳入と同額を計上しております。

細目2 基金管理経費は、科目設定です。

細目3 ブランド米創出事業経費になります。

124ページ、125ページをお開きください。

18節④金のいぶき生産支援補助金272万3,000円ですが、金のいぶきのカントリーエレベーターの利用により、令和7年度に引き続き補助交付金を交付するものでございます。事業実施により、品質の向上、作業効率の向上を図られましたが、令和7年度の農家の米価売渡価格が高かったことから、令和8年度の作付面積は、金のいぶきにつきましては減少する見込みであります。金のいぶきの需要もあることから、農協さんとともに推進していこうとするものでございます。

4目畜産業費483万円、対前年度比54万7,000円の減です。大きくは、令和7年度と同様の構成となっております。2か所の堆肥保管庫運用を開始し、子牛農家の堆肥施用が増加し、よりよい効果が出ているところでございます。また、令和9年度、北海道で開催の全国和牛能力共進会に向け、昨年度同様、支援をしております。

5目農地費1億5,520万5,000円、対前年度比368万7,000円の減です。主なものについてご説明申し上げます。

細目1 農地事業経費になります。

126ページ、127ページをお開きください。

④補助交付金、土地改良区合併推進協議会補助金15万円は、現在、涌谷土地改良区と旧迫川右岸土地改良区にて、合併に向け協議を進めております。令和7年12月24日に合併推進協議会を設立いたしました。今後、令和9年4月1日の合併認可に向け協議を進めておりますが、合併までの推進協議会に係る事務経費等を補助するため計上しております。

細目2 農地整備事業経費12節①委託料、農業経営高度化支援事業委託料640万1,000円については、圃場整備事業出来川上流、出来川下流、鹿飼沼、3地区におけるソフト事業を計上するものでございます。促進計画変更支援業務委託料332万1,000円については、出来川上流地区及び下流地区の2つの圃場整備に係る担い手等の変更のため計上するものです。

18節①県営圃場整備事業負担金5,630万5,000円については、3地区の圃場整備事業に係る負担金です。

④補助交付金、多面的機能支払交付金7,758万円については、活動組織18組織に対し支援するものでございます。

細目3 農業用排水路整備事業経費ですが、水利施設の維持管理に係る負担金及び補助でございます。

6目農業振興地域整備費594万6,000円、対前年度比121万4,000円の減ですが、細目1 農業振興地域整備促進事業費12節①農業振興地域整備計画見直し業務委託料593万円ですが、令和7年度からの2か年事業での見直しとなり、令和7年度は基礎調査等を実施しております。

終わります。

○生涯学習課長（福山宗志君） 128、129ページをお開きください。

8目細目1 農村環境改善センター運営経費957万9,000円につきましては、対前年度158万6,000円増額で計上しております。主に、会計年度任用職員に係る人件費が増額となったもので、10節需用費以下の維持管理経費

につきましては、おおむね前年度と同様でございます。

終わります。

○産業振興課長（三浦靖幸君） 14目細目2石仏広場管理経費ですが、対前年度比4万6,000円の増となります。それぞれ年間の所要額で、前年度とほぼ同額の経費でございますが、10節⑥修繕料として、木製歩道の修繕を計上しております。

130ページ、131ページをお開きください。

15目細目1農村整備事業ですが、前年度同額の経費でございます。

17目細目1水田農業構造改革対策事業経費ですが、対前年度比5,229万2,000円の増となっております。増額の要因は、18節④補助交付金、機械施設導入補助金事業の計上によるもので、みやぎの水田農業改革支援事業補助金552万2,000円、農地利用効率化等支援交付金2,829万8,000円、担い手確保経営強化支援事業補助金3,000万円を申請予定であり、歳入とほぼ同額を計上しているものでございます。涌谷地域農業再生協議会へ、町農業再生協議会補助金60万円、経営所得安定対策等推進事業費補助金350万円は、前年度同額を計上しております。

2項1目細目1林業振興対策経費ですが、673万5,000円、対前年度比3万1,000円の増でございます。現在は、意向調査結果に基づき、所有者から経営や委託の申出があった森林について、経営管理権集積計画（案）を作成しているブロックを中心に、森林所有者と林業業者との直接の契約を行う方向で現在調整中であり、その結果をもって、森林管理計画の事業の再構築を図る予定としております。そのため、委託料等々は計上しておりません。

細目3基金管理経費ですが、国からの森林環境譲与税を基金に積み立て、今後の森林経営管理制度事業に充てるものでございます。

132ページ、133ページをお開きください。

7款商工費になります。1項2目細目1商工業振興対策経費18節④中小企業振興資金貸付保証料補給補助金631万円、利子補給補助金508万円につきましては、制度を維持し、見込みを計上しております。

遠田商工会補助金640万5,000円、シルバー人材センター運営費補助金945万円は、昨年度と同額を計上しております。

特産品ブランディング事業補助金200万円については、これまで森林どりを中心に特産品開発をしている商品のお披露目として令和6年度に実施しました、わくやチキンフェスティバルを令和8年度に開催するために補助するものでございます。開催に当たり、ウェルファムフーズ様の協力をいただく旨、承諾をいただいております。9月の開催を予定しております。

インバウンド事業補助金60万円につきましては、遠田商工会において県の事業を予定しており、遠田地区へインバウンド誘客のため、事業を3か年で実施するため、美里町、涌谷町で商工会負担分の一部を補助するものでございます。

中小企業エネルギー価格高騰対策支援事業補助金2,110万円につきましては、重点支援地方交付金を活用した事業となり、物価高騰の影響を受けている町内の中小企業に対し給付金を交付し、事業者の経営負担を軽減するものでございます。現在、法人10万円、個人事業主5万円のほか、対象条件を新たに付した形で交付を予定しております。交付申請開始時期につきましては、できる限り早い段階で調整しているところでございます。

20節①中小企業振興資金融資原資預託金につきましては8,000万円を計上し、振興資金融資総額は8億円で実施するものでございます。経済情勢により中小企業の厳しさを感じております。各金融機関の協力を得て、令和7年度と同様の制度にて実施することになりました。このことから、事業者の皆様への助けになればと考えております。

134ページ、135ページをお開きください。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） 細目2企業誘致対策経費につきましては、対前年度3,961万4,000円増の4,583万円といたしております。この増額の理由といたしましては、18節④補助交付金、企業立地奨励金におきまして3,971万2,000円増額しております。前年度は、補正予算で新規に創業を開始した事業者へ奨励金を増額させていただきましたが、今回につきましては当初予算から計上しているためでございます。また、企業誘致につきましては、黄金山工業団地の早期売却を目指してまいりますので、委員の皆様も情報提供などよろしくお願ひしたいと考えております。実施計画は94ページでございます。

終わります。

○産業振興課長（三浦靖幸君） 細目3基金管理経費は、科目設定でございます。

3目観光費2,332万6,000円、対前年度比336万6,000円の増となっております。

細目1観光振興対策経費12節物産販売業務委託料260万円につきましては、地域振興公社への委託を予定しております。桜回廊支障木剪定業務委託料150万円につきましては、昨年度から倍増し、計画的に実施しようとするものでございます。

136ページ、137ページをお開きください。

18節④涌谷町観光物産協会補助金1,500万円につきましては、令和7年度の事業予定から算定し、主要な事業、桜まつり、鞍馬大会、夏まつり、秋の山唄を実施するため計上しております。なお、涌谷大橋の歩道崩落の影響もあり、桜まつり、鞍馬大会は通行規制を大幅に拡大いたしますが、例年どおり実施いたします。お客様の安全を一番に考え、お楽しみいただけるよう事業を実施したいと考えております。

終わります。

○建設課長（岩淵 明君） 8款土木費になります。実施計画は96ページから102ページになります。

1項1目細目2土木総務経費214万4,000円で、対前年度比1万1,000円の減額でございます。事業内容は前年同様でございますが、12節①委託料28万5,000円は木造住宅耐震診断委託料で、国の交付金と県補助金を活用し、2件分の予算措置をしております。

138、139ページをお開き願います。

④補助交付金166万1,000円、こちらも前年同額となりますが、同じく国の交付金と県補助金を活用し、木造住宅耐震改修工事助成事業が1件、危険ブロック塀等除去事業が3件分の予算措置を行っているものでございます。

2項1目細目2道路橋梁総務経費672万8,000円で、対前年度比22万7,000円の増額でございます。主なものといたしまして、12節①委託料23万9,000円は、人件費の高騰により3万4,000円増額しており、13節①使用料及び賃借料で、公用車リース料92万円が昨年度中にリース期間の終了に伴い乗換えを行ったため、対前年度比7万円増額となっております。また、令和8年度に仙北地域道路懇談会が涌谷町で開催されることに伴い、会場

使用料として4万円計上しております。これは、仙北地域の関係する9つの市町村長と国の出先機関の所長等が一堂に会し、直轄国道の整備について意見交換を行うものでございます。

細目3道路台帳整備事業費351万5,000円で、対前年度比208万1,000円の増額でございますが、12節①委託料におきまして、令和7年度中に整備した町道路線及びさくらんぼこども園前の農道長根線を町道認定するための台帳整備を行うものでございます。

2目細目1道路維持補修事業費5,048万6,000円で、対前年度比432万6,000円の減額となります。

140ページ、141ページをお開き願います。

事業内容は、おおむね前年度同様でございますが、主なものといたしまして、14節①工事請負費2,520万円のうち、(浚渫債)水路浚渫工事2,000万円が前年度比600万円の減となっておりますが、吉住地区の不動沢側において、県道横断部分を中心に浚渫工事を予定しており、大雨時の浸水被害を軽減する努力を行ってまいります。また、道路や側溝等の維持管理につきまして、緊急性を考慮しつつ、効率的な予算執行を心がけてまいります。

細目2除雪経費862万6,000円で、前年度比5万2,000円の減額でございますが、各行政区への除雪協力謝礼、融雪剤散布に関する費用や除雪用車両の借上料となっております。

続いて、3目細目1道路新設改良事業費1億3,990万円で、対前年度比2,455万円の増額になります。

142、143ページをお開き願います。

予定しております事業といたしまして、まず12節委託料2,800万円、対前年度比1,400万円の増額になりますが、道路メンテナンス事業費補助金を活用し、例年実施しております(補助)橋梁点検業務委託料1,150万円と、(補助)橋梁長寿命化計画策定委託料150万円となります。補助率は58.3%でございます。また、(過疎債)道路測量設計業務1,500万円は、さくらんぼこども園前の長根線道路改良事業にあたり測量設計業務を行うものでございます。江合川の堤防付近から、さくらんぼこども園前までの約400メートルを予定しております。

次に、14節工事請負費1億1,151万円で、対前年度比1,016万円の増額となります。まず、(交付金)道路改良工事3,000万円は、防災安全社会資本整備交付金を活用して施工しております泥目木線道路改良事業で舗装工事を予定しております。補助率は2分の1でございます。次の(過疎債)道路工事2,500万円では、町道の舗装及び側溝工事を実施いたします。また、(辺地債)道路工事5,651万円は、主に旧迫川沿いの大谷地北線の舗装工事を予定しているものでございます。

16節公有財産購入費39万円、対前年度比、皆増となりますが、太田地区の欠下線などの道路用地を購入するものでございます。

続きまして、3項1目細目2都市計画事務経費172万5,000円で、対前年度比120万円の増額になります。そのうち、18節④補助交付金の170万円でございますが、さきに街路灯設置並びに維持に関する補助条例の一部を改正する条例でご説明いたしました街路灯の修繕に対する6団体への補助金分120万円を増額し、街路灯電気料と合わせて予算措置したものでございます。

細目4都市計画審議会経費3万6,000円、対前年度比、同額になりますが、審議会の開催案件があった際に速やかに開催できるよう予算措置を行っているものでございます。

2目細目1公園管理経費1,252万7,000円で、対前年度比115万5,000円の増額になります。そのうち、12節①委

託料の都市公園等植栽木管理業務等委託料の981万円、対前年度比49万6,000円増額しておりますが、人件費等の高騰分を見込むものでございます。

144、145ページをお願いいたします。

14節①工事請負費90万円、対前年度比78万1,000円の増額になりますが、江合川左岸の県道涌谷田尻線沿いにあるトイレについて、大便器の洋式化を行うものでございます。

3目細目2都市下水路管理経費100万円で、対前年度比、同額になりますが、東地区の市街地排水に係る土地改良区への補助金となっております。

終わります。

○上下水道課長（阿部雅裕君） 続きまして、4目細目1下水道事業費18節③下水道事業会計負担金2億2,727万8,000円及び23節①下水道事業会計出資金1億373万円、合わせまして3億3,100万8,000円で、前年度比390万9,000円の増につきましては、下水道事業会計へ繰り出すものでございます。

終わります。

○建設課長（岩淵 明君） 4項住宅費になります。

1目細目1公営住宅管理経費7,568万円で、対前年度比590万3,000円の減額となります。主なものといたしまして、10節⑥修繕料710万円で、対前年度比110万円の増額でございますが、当初予算におきましては、昨年度同数の5戸程度の修繕を見込んでいるものでございますが、修繕内容や物価高騰による増額でございます。

あわせて、11節②手数料のハウスクリーニング料50万円を計上するものとなっております。

12節①委託料、八雲住宅外壁改修設計業務委託料100万円につきましては、工事発注資料の作成費用でございます。

14節①工事請負費6,600万円は、昨年度比800万円の減額となりますが、社会資本整備総合交付金を活用し、町営住宅の長寿命化計画に基づき実施している八雲住宅4号棟の外壁改修工事を予定しているものでございます。補助率は2分の1でございます。

146、147ページをお開き願います。

細目2基金管理経費24節積立金1,000円は、科目設定でございます。

終わります。

○総務課参事兼課長兼デジタル行政推進室長（内藤 亮君） 9款消防費でございます。

1項1目細目1常備消防経費につきましては2億3,641万8,000円で、前年度比151万1,000円の増額となるものでございます。増額の要因といたしましては、大崎消防本部の消防車両購入に伴い増額となるものでございます。

続きまして、2目細目1非常備消防経費につきましては、総額4,357万8,000円で、前年度比135万8,000円の増額となるものでございます。今年度も消防団に係る報酬等を計上するほか、今年度開催される大崎操法大会出場に係る費用につきまして、10節②消耗品費を増額しております。

また、今年度につきましても、昨年度に引き続き、老朽化した小型ポンプ積載車2台を購入するため、17節備品購入費で1,706万8,000円を計上するものでございます。財源につきましては、緊急防災・減災事業債を活用しております。充当率100%、元利償還金の70%が交付税措置されるものでございます。実施計画につきまして

は、103ページに詳細を掲載しております。

次の148、149ページをお開き願います。

3目細目1 消防施設維持管理経費につきましては、総額500万5,000円で、前年度比307万1,000円の減額となるものでございます。昨年度につきましては、工事請負費におきまして防火水槽の撤去費用を計上してございましたが、今年度は計上ございませんので、その分で減額となるものでございます。

続いて、細目2 消防施設整備事業費につきましては35万1,000円となり、前年度比2億154万円の大幅な減額となるものでございます。昨年度につきましては、防災行政無線設備の更新工事費といたしまして2億円を計上してございましたが、その分で減額となるものでございます。

続きまして、4目細目1 水防対策経費につきましては、総額347万円で、前年度比311万6,000円の増額となるものでございます。今年度、美里町と合同開催で水防演習が開催される予定であり、当町が担当町となっております。増額分につきましては、水防演習に係る費用について計上したものでございます。

次の150ページ、151ページをお開き願います。

5目細目1 地域防災計画策定経費につきましては7万8,000円で、前年度と同額を計上しております。

細目2 災害対策経費につきましては、総額192万8,000円で、前年度比129万4,000円の増額となるものでございます。主な増額の内容でございますが、10節②消耗品費におきまして、核燃料税交付金を活用し、災害対策用消耗品を購入しようとするほか、11節②非常用発電機点検手数料につきましては、隔年実施のため今年度25万1,000円を計上するものでございます。

続きまして、細目4 原子力災害対策経費でございますが、8万円で、前年度比7万円の増額となるものでございます。

8節②普通旅費におきまして、UPZ自治体協議会の視察研修に係る費用を計上するものでございます。

終わります。

○委員長（門田善則君） 休憩します。再開は2時15分といたします。

休憩 午後1時58分

再開 午後2時15分

〔出席委員数休憩前に同じ〕

○委員長（門田善則君） 休憩を解いて再開します。

教育総務課、説明をお願いします。

○教育総務課長兼給食センター所長（宮 まどか君） 10款教育費でございます。

1項1目細目1 委員会運営経費につきましては、総額174万5,000円で、前年度比7,000円の増額となっております。

152、153ページをお開き願います。

増減の主な理由といたしましては、東北六縣市町村教育委員会連合会負担金の増額によるものでございます。

2目細目2 事務局経費につきましては、総額3,715万6,000円で、前年度比510万9,000円の増額となっております。

す。増額の主な理由といたしましては、令和8年度から涌谷第一小学校、笹岳白山小学校、涌谷中学校で始まる学校運営協議会、いわゆるコミュニティスクール導入に関する費用といたしまして、1節報酬③学校運営協議会委員報酬102万円のうち84万円、154、155ページをお開き願います。7節報償費①コミュニティスクールアドバイザー謝礼7万2,000円、8節旅費①費用弁償25万4,000円のうち16万8,000円が増額となったものでございます。これにより、町内全ての小中学校でコミュニティスクールが開始されることになるものでございます。

また、幼稚園の閉園に関する予算として、11節役務費②手数料53万7,000円のうち50万円が、幼稚園の引越越しで発生する4月以降に廃棄処分を行う処分手数料、13節①使用料及び賃借料、AEDリース66万5,000円のうち、各園に配置していたAEDを小学校へ再配置する予算としまして16万6,000円、また施設利用料19万5,000円のうち、夏休み中に小中学生が美里町のプールを無償で利用していただくための利用料として13万5,000円を増額いたしております。

19節扶助費①要保護・準要保護就学援助費1,492万3,000円でございます。国の就学援助に該当する項目の単価が増額改定になることから、また対象者の増加により前年度比182万6,000円が増額となったものでございます。

156、157ページをお開きください。

特別支援教育就学奨励費54万2,000円ですが、給食費無償化が国で決定されたことにより、特別支援教育就学奨励費支払いの項目から給食費が外れたため、前年度比34万8,000円の減額となったものでございます。

細目4スクールバスの運行経費につきましては、総額1億4,422万2,000円で、前年度比2,108万2,000円が増額となっております。主な増額の内容につきましては、12節委託料①スクールバス運行業務委託料が2,137万2,000円が増額となったものでございます。こちらは令和8年度から10年度までの契約更新を新たに結ぼうとしているところですが、人件費の上昇や国土交通省による時間及びキロ当たりの運賃単価の改定などを見込んでおるものでございます。

細目5学力向上対策経費につきましては50万2,000円で、前年度比18万7,000円が増額となっております。こちらの主な増額の理由につきましては、夏休みに開催しているパワーアップ教室で学習支援をしていただく会計年度任用職員の報酬額の上昇によるものでございます。

細目6スクールソーシャルワーカー活用事業経費につきましては218万3,000円を計上しており、前年度ほぼ同額となっております。内容といたしましては、昨年同様に年間約69日、各学校を訪問し、問題のある児童生徒及び家庭の支援などにつきまして、関係機関との連携を図る予定としております。実施計画の105ページに記載しております。

細目7わくや子どもの心のケアハウス運営事業経費につきましては、総額565万9,000円で、前年度比12万2,000円が増額となっております。こちらにつきましても、会計年度任用職員の報酬の増によるものとなっております。実施計画の106ページに掲載しております。

158ページ、159ページをお開き願います。

細目11、GIGAスクール経費につきましては、総額1,309万2,000円で、前年度比6,141万9,000円の減額となっております。こちらは、昨年度購入いたしましたタブレット購入費用が全て減額となったことによるものでございます。

160、161ページをお開き願います。

2項1目細目2小学校管理経費につきましては、総額9,246万9,000円で、前年度比1,000万8,000円の増額となっております。主な増額の内容といたしましては、涌谷第一小学校において特別支援学級の生徒が増えるため、会計年度任用職員を1名、また障害を持っている児童をサポートするための会計年度任用職員1名の計2名の人件費分が増額となったものです。

10節需用費②消耗品費120万円、こちらは前年度比255万3,000円の減額となっておりますが、次に出てまいります小学校教育振興経費との消耗品との間で科目分類の見直しを行ったことによる減額でございます。

⑥修繕料180万円のうち112万4,000円が昨年度より増額しております。こちらは、涌谷第一小学校東校舎の2階女子トイレで水漏れが発生しており、その修繕などを行おうとするものでございます。

12節①委託料でございます。総額1,018万7,000円で、前年度比348万9,000円の増額となっております。

162、163ページをお開き願います。

主な増減の内容といたしましては、医療的ケア児訪問看護委託料626万1,000円、前年度比248万1,000円の増額となっております。こちらは、医療的ケアが必要な児童の進級により在校時間が延びたため、訪問回数を年400回から690回に増加しようとするものでございます。

また、13節①使用料及び賃借料において、予算処理の記載はありませんが、同児童の身体の成長及び学校での支援等により、今まで使用していた階段昇降機を使用せずとも、サポートがあれば階段の上り下りができるようになったことから、令和7年度で階段昇降機のリースを終了し、先ほど申しました会計年度任用職員による見守り等に変更しようとするものでございます。

14節①工事請負費88万円でございますが、こちらは箕岳白山小学校の校舎が雨漏りしていることから、防水工事を行おうとするものでございます。

2目細目1小学校教育振興経費につきましては、総額380万3,000円で、前年度比264万8,000円の増額となっております。こちらは、先ほど小学校管理経費で説明いたしました消耗品費の科目分類の見直しを行ったためであり、実質は昨年同様の予算措置となっております。

164、165ページをお開き願います。

3項1目細目2中学校管理経費、総額3,417万9,000円ですが、前年度比541万6,000円の増額となっております。主な増額の内容といたしまして、特別支援学級支援員として、中学校におきましても会計年度任用職員を1名増員したことによるものでございます。

10節⑥修繕料400万円のうち、前年度比370万円の増額となっております。これは、中学校の自動火災報知設備を修繕しようとするものでございます。

166、167ページをお開き願います。

細目3外国青年招致事業経費におきましては、引き続き外国語英語指導助手ALT1名の派遣業務を委託するほか、イングリッシュキャンプに係る経費を総額で329万7,000円計上しております。事業内容につきましては、昨年同様の計画をしておるところでございます。実施計画書の107ページに掲載しております。

細目4中学校施設整備費649万円でございます。こちらは、中学校の照明器具省エネ化改修工事を実施する予定でございます。改修箇所は、北校舎、1、2年生が使用している8つの教室をLED照明に改修する予定でございます。

2目細目1 中学校教育振興経費になります。こちらは総額313万9,000円で、前年度比15万8,000円の減額となっております。内訳といたしまして、令和7年度に教科用図書の採択に伴い購入した教員用教科書購入費303万6,000円が減額となりました。また、小学校と同様に、管理経費と振興経費の間で科目の整理を行っております。また、昨今の異常気象による熱中症対策や教職員の働き方改革、また中学校のプールを含む施設の老朽化対策などを総合的に鑑み、今年度から中学校の水泳授業を民間のプールを活用し実施することといたしました。

12節①委託料、水泳授業指導委託料120万8,000円、13節①、158、159ページをお開き願います。水泳授業コース借上料1万9,000円、水泳授業施設利用料27万5,000円を新規で計上いたしております。

細目2 中学校課外活動経費につきましては329万7,000円を計上いたしております。こちらは、中総体や新人戦に係る費用として、昨年同様の見込額としております。

4項1目細目2 幼稚園管理経費27万9,000円ですが、こちらは幼稚園の統合に伴い、ほぼ予算額の計上はございませんが、令和7年度に勤務された会計年度任用職員の勤務実績に基づき、労働保険料の精算分のみ計上したものでございます。

終わります。

○生涯学習課長（福山宗志君） 5項1目社会教育総務費になります。

170、171ページをお開きください。

細目2 社会教育事務経費ですが、対前年度61万2,000円減額の696万6,000円を計上しております。減額の主な内容としましては、18節②一部事務組合負担金、大崎地域広域行政事務組合負担金が対前年度49万3,000円の減額、④補助交付金、元気わくやふれあい町づくり補助金が対前年度11万9,000円の減額になったことによるものです。その他につきましては、前年度と同様でございます。

元気わくやふれあい町づくり事業につきましては、前年同様、国3分の1、県3分の1の補助率となる事業で、実施計画につきましては、108ページに記載しております。

続きまして、2目公民館費です。

172ページ、173ページをお開きください。

細目2 公民館運営経費でございますが、対前年度799万2,000円増額の2,601万3,000円を計上してございます。増額の主なものとしましては、会計年度任用職員に係る人件費が増額となったほか、11節②手数料において、公用車が車検の時期を迎えることから、公用車点検手数料11万円を増額、そして、174、175ページをお開きください。14節①工事請負費において、公民館東館のトイレの老朽化が進んでいることから、修繕と併せ洋式化を図る改修工事を実施したく600万円を計上させていただいたことによるものです。

続きまして、3目細目1 文化財保護経費です。対前年度88万4,000円増額の542万3,000円で計上しております。増額の主な内容といたしましては、12節①収蔵文化財の保存を図るためのカビや虫の防除を行う文化財収蔵施設燻煙処理業務委託料で189万2,000円を増額計上したことによるもので、その他につきましては前年度とおおむね同様でございます。実施計画につきましては、109ページに記載してございます。

176、177ページをお開きください。

細目2 歴史公園管理経費ですが、対前年度4万8,000円減額の75万8,000円を計上してございます。それぞれの

項目で少額の減額があるものの、おおむね昨年同様となっております。

細目3文化財活用経費は、対前年度14万3,000円増額の29万2,000円を計上してございます。

7節①報償金にて、佐々木家屋敷公開事業講師謝礼として10万円、10節④印刷製本費にて、佐々木家住宅のパンフレット等印刷経費4万4,000円を計上してございます。昨年に引き続き、季節に応じた武家屋敷の公開、活用イベントを実施する予定でございます。実施計画につきましては、110ページになります。

細目4歴史文化基金管理経費1,000円につきましては、積立金の科目設定でございます。

細目5日本遺産事業経費につきましては、日本遺産事業推進のための経費で、対前年度67万7,000円減額の611万4,000円としております。減額の要因といたしましては、会計年度任用職員に係る経費で61万5,000円減額、8節②普通旅費が9万円減額したことによるものです。

178ページ、179ページをお開きください。

4目細目1資料館管理経費ですが、対前年度51万2,000円増額の265万7,000円を計上しております。増額の主なものとしましては、会計年度任用職員に係る人件費が増額となったほか、13節①使用料及び賃借料で、施設照明のLED化を図るため、施設照明灯リース料31万7,000円を増額計上したものです。他の項目につきましては、おおむね昨年同様となっております。

5目細目1発掘調査費につきましては、対前年度4万4,000円増額の54万8,000円を計上してございます。

13節①使用料及び賃借料、重機借上料で、価格高騰により対前年比4万4,000円の増額計上となったもので、発掘調査は昨年同様2件程度を見込んでございます。

6目細目1くがね倉庫管理経費につきましては、対前年度64万9,000円増額の675万1,000円を計上してございます。増額の主な要因としましては、会計年度任用職員に係る人件費の増額のほか、10節⑤光熱水費で4万2,000円増額となったもので、続きまして、180、181ページをご覧ください。13節①使用料及び賃借料で、電子複写機リース料が7万円増額計上したことによるものです。

6項1目細目2保健体育事務経費につきましては、対前年度14万1,000円増額の171万4,000円を計上してございます。増額の主な要因としましては、182、183ページをお開きください。18節④補助交付金において、クロスカントリー大会実行委員会補助金として20万9,000円を増額計上したことによるものです。クロスカントリー大会につきましては、例年3月を開催時期としておりましたが、他の大会や行事と重なることなどが多いことから、開催時期や内容の見直しを進めており、現在、本年12月に麓岳地区で開催したいと検討を重ねているところです。

その他の項目につきましては、おおむね昨年同様となっております。

終わります。

○教育総務課長兼給食センター所長（宮 まどか君） 2目細目2給食センター運営経費でございます。こちらは1億2,794万2,000円で、前年度比986万8,000円の増額となっております。増減の主な理由といたしましては、10節②消耗品100万円、前年度比200万円の減額となっております。これは、令和7年度で古くなった食器を新たに購入したことにより、今年度は減額となったものでございます。

また、⑦賄材料費5,985万円のうち367万6,000円の減額、こちらは児童生徒数の減によるものでございます。

12節①委託料、調理配送業務委託料4,630万4,000円、前年度比1,191万8,000円の増額、こちらは令和8年度か

ら12年度までの5年間、業務委託契約を新たに結ぼうとしておるところですが、人件費の上昇など契約金約の上昇が見込まれるものでございます。

184、185ページをお開き願います。

場外施設清掃業務委託料110万円につきましては、給食センターの近隣のご家庭から臭気がひどいとお話をいただいたことから、臭気発生源と思われる場外施設の清掃費用を新たに計上したものでございます。

17節①備品購入費123万円につきましては、食缶下洗いシンクを新たに購入しようとするものでございます。現在は、食缶を洗浄する際に、食缶の大きさから一度床に置いて洗浄することとなりますが、現在の衛生基準に照らし合わせますと、床がぬれてしまう状況は好ましくないとの指摘を受けておりますことから、食缶を洗浄する際に床がぬれることのないよう専用のシンクを購入しようとするものでございます。

終わります。

○生涯学習課長（福山宗志君） 6項3目細目1 体育施設管理経費でございます。対前年度282万1,000円増額の2,516万1,000円を計上してございます。増額の主な要因といたしましては、勤労福祉センターにおきまして、これまで日曜日、祝日の使用時間が午後5時までとなっておりますが、町内ほかの体育施設に合わせまして、令和8年度より午後9時まで使用できるようにいたしたく、会計年度任用職員の経費において169万9,000円増額となったほか、12節①委託料において、涌谷スタジアム清掃管理業務委託料が物価高騰などにより86万5,000円増額、13節①使用料及び賃借料において、令和7年度にLED化しました施設照明灯リース料で64万6,000円の増額になったことによるものです。

終わります。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） 12款公債費となります。

186ページ、187ページをお開きください。

1項1目細目1、22節①償還金、長期債元金でございます。長期債元金につきましては、対前年度1億5,502万3,000円増の8億1,189万6,000円となったものでございまして、令和7年度事業借入れ見込み分の償還開始と借換債分などになります。

終わります。

○町民生活課参事兼課長（今野優子君） 細目2 災害援護資金貸付金償還元金22節①償還金216万7,000円でございますが、東日本大震災の被災者の方に対して貸付けしております災害援護資金の元金について、県への償還計画により計上するものでございます。前年度比595万9,000円の減額でございますが、償還計画の額の8割を収納見込みとして計上しております。

災害援護資金貸付金は、貸付けから13年の返済期限が到来していますが、当町以外にも多額の滞納が生じていることから、国が県に貸し付けた原資の返済が5年間延長されることが決まりました。これに伴い、宮城県への返済期限についても2030年まで5年間延長されましたが、市町村が猶予と判断した場合が対象となります。返済猶予期間は、生活状況などを考慮して、毎年市町村が判断することになります。計画どおりの償還が困難な方については、相談の上、支払い猶予の手続きを進めてまいります。

終わります。

○企画財政課参事兼課長（熱海 潤君） 2目細目1、22節②利子及び割引料、長期債利子につきましては、対前

年度991万1,000円増の3,494万6,000円となりました。

予算書の212ページ、213ページをご覧ください。

地方債の令和6年度から令和8年度末の見込みを含む現在高を記載させていただいております。

次の214ページから225ページまで、地方債の詳細一覧を掲載しておりますので、こちらはご参照いただきたいと思っております。

186ページ、187ページにお戻りください。

細目2、22節②利子及び割引料、一時借入金利子32万5,000円につきましては、前年同額を計上しております。

14款予備費2,000万円につきましても、例年どおりの額2,000万円を計上しております。

以上で歳出の説明を終わります。

○委員長（門田善則君） 以上で、議案第22号 令和8年度涌谷町一般会計予算の説明は終了いたしました。



◎延会について

○委員長（門田善則君） お諮りいたします。

本日の会議はこの程度にとどめ延会したいと思います、これにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と言う人あり〕

○委員長（門田善則君） 異議なしと認めます。よって、本日はこれをもって延会することに決しました。



◎延会の宣告

○委員長（門田善則君） 本日はこれで延会します。

お疲れさまでした。

延会 午後2時44分